

素直になれなくて…

渡辺 庄蔵

(財務省 東北財務局 秋田財務事務所長)



部下職員に「ここは、こうじゃな〜い？」と投げかけると、「おっしやる通り」「修正します」となってしまうことが多い…。心裡留保的手法のつもりで議論のきっかけを意図する場合も多いが、往々にして引っ込みがつかなくなることもあり、自らの後悔も絶えない。

ただ、素直は美德であるが、素直だけでは何も生まれない、とも考える。いまこの時代、幾多の困難・壁にぶち当たった時に、立ち止まらないように、私なりの尖った思考回路をいくつか記してみたい。

■ (その1)

単身赴任4回目。引っ越しに加え、単身ともなれば敬遠される方が多い。家族と一定の距離感を保つことで、双方ともに案じ思いやりが生まれ、自身も生活力が身に付き本当の大人になれる。晩酌は欠かさないが、偶に妻、娘と家族3人であれば言うことなし(かわいい夫にも旅をさせる)。

赴任先にはマイカー帯同なし。車がないと生活できない、不便は重々承知も結構心配や同情もされる。一足早く高齢者動線を体験できるほか、徒歩移動が中心のため医者要らず、晩酌に限らず禁断の昼飲みも可能に。遠出は、物置に眠っていたかつて娘愛用の折畳自転車が活躍(これが本当のリサイクル)。

でも、いわゆる「二ツカマド、三ツカマド」は経済的にも相当重くのしかかる。割引シールの時系列的な変遷分析や冷凍技術の進化等を体験しつつ、少しでも地域への経済的貢献を果たしていることでの満足感が勝っている(武士も妻子も食わねど高楊枝)。

■ (その2)

趣味は野球、ゴルフ、スキー。比較的歳をとってもできるスポーツであり、学生時代にはできる環境になかった恨みつらみも多少ある。バブル期の流行り廃りが付きまとい、会場、用具、天候等の兼ね合いもあって、おいそれとは始めにくく上達には時間がかかることなどから、斜陽スポーツとも言える。特にゴルフはオジサンの接待イメージから評判が芳しくないようだ。プロ化、国体、オリンピック種目と純粹そのものであり、何よりプレーヤーの性格が素直に現れるが故に接待に利用される所以であり、審判は自分

自身、真の相手は言い訳無用の大自然であることから、精神鍛錬には持ってこいなのである。ストレス解消に行って倍のストレスを溜めて帰ってくる休日の過ごし方は、何とも乙である（毒を以て毒を制す、毒食わば皿まで？）。

■（その3）

テレビ番組の影響もあってか、地域独自の風習、食べ物、居住地などが何かと話題になっている。過去の飢餓対策や開墾等生きるための必死な姿勢ぶりには頭が下がる。特に、ウニ、ナマコを最初に口にした方は序の口、猛毒のフグの卵巣の糠漬けに至っては、未だに科学的に解明されていないとも聞く。「ブランド力、技術力を守るため一子相伝で隠し通しているのでは」と勘繰りたくなるくらいである。いずれにしても、環境への順応力の高さの源泉は、命がけのトライ&エラー、「やればできる」の実践結果であろう。

こうした先人の知恵と勇氣に敬意を表しつつ、我々も後世に何が残せるか真剣に考える必要がある（立つ鳥跡を濁さず、下手の考え休むに似たり…「ちょすな」ともいわれそうだけど…）。

■（その4）

地域を変えるには「よそ者、若者、バカ者」と言われて久しい。良いアイデアが浮かばない原因を「若者じゃないから」と言い訳して早〇年。ところが先日、とある発表で秋田県の社長の平均年齢が全国トップ（クラス）であることを知り、まだまだ若輩者であることを自覚させられてしまった（どおりで「若気の至り」が多いはず）。

このため、今後のヒントぐらいいは考えておきたい。

私が社会人に成り立ての頃は、先輩方から「最近の若い者は～」と事あるごとに言われた記憶があるが、現在の私の常套句もまた同じである。進化がないのか、前例踏襲なのかよくわからないが、少し考え方を変えてみよう。かつては言葉遣いから「タンバラ」な性格まで矯正が中心であったように思うが、現在は長所を伸ばし短所には目を瞑る傾向が強いように感じる。これからは短所をも強み・武器とするような指導、考え方が主流に成り得るのではないか（もうなっている。気づいてないだけ？）。ランプの宿、蕎麦・雑穀、天然水の販売、そう言えばホルモンだって…枚挙に暇がない。否定・批判を堪え肯定・挑戦からスタート（老いては子に従え、歴史とファッションは繰り返す、訛は国の手形、温故知新）。加えて、最近は個性の尊重も重要視されつつあり、これらは人材育成に限らず地方創生にも通じるところがあるはずである（「団栗の背比べ」よりも「青は藍より出でて藍より青し」）。

また、寡黙、粘り強いも大事だと思うが、折角「住めば都」に来たのだから、交流・お話をドンドンしていきたい。笑顔を増やし、時には深刻にならず「ケセラセラ」の精神で、素面でも、気さくな間柄でお願いしたい（おらほの田舎の方言で「サクイ」人でありたい）。そのためにも研鑽と挑戦を忘れず、NiziUに負けないように意地を張って

GojiUの手習いで老け込まないように対抗していきたい。

■（終わりに）

こうした「あまのじゃく」的な考え方、気軽なバカ話の積重ねがその延長線上で、好事例に化ける可能性がないとは言えない（瓢箪から駒、目から鱗が落ちる）。ましてやコロナ禍であるからこそ、コロナを嘆き、恨み、転嫁するよりも、敢えてコロナをも利用するぐらいの意気込み・姿勢こそが我がオヤジ世代が後世に残せるレガシーなのかもしれない。それは歴史が必ずや検証してくれる…はずである…。

このまま続けると、石が、いや医師も飛んできそうなので…。未完成の美学ということとで…おしまい。

東北財務局 秋田財務事務所の概要

- | | | | |
|----------------|-------------------------|---------|---|
| 1 代表者 | 所長 渡辺 庄蔵 | 4 U R L | http://tohoku.mof.go.jp/akita/ |
| 2 所在地 | 秋田市山王7丁目1-4
秋田第2合同庁舎 | 5 設立年月 | 昭和25年5月(秋田財務部) |
| 3 各課連絡先・主な担当業務 | | 6 職員数 | 25名 |

総務課	TEL 018-862-4191 FAX 018-864-1765
	・当所で扱っている事務に関する苦情・相談 ・広報事務、文書、経理、職員の福利・厚生 ・入札参加資格審査に関する事務
財務課	TEL 018-862-4192
	・財政融資資金の貸付、地方公共団体等の起債に関する事務 ・地方経済情勢等の調査、法人企業統計調査 ・記名国債証券の交付に関する事務 ・たばこ事業法に関する事務
理財課	TEL 018-862-4193 多重債務相談 TEL 018-862-4196
	・銀行、信用金庫、信用組合、証券会社、保険会社、貸金業者、 前払式支払手段発行者に対する監督・検査 ・抵当証券業者、金融先物取引業者の業務運営に対する監督・検査 ・上記に関する相談
管財課	TEL 018-862-4205
	・国有財産（各省各庁所有）の総合調整に関する事務 ・国家公務員宿舎の設置及び維持管理 ・国有財産の管理・処分及び貸付等に関する事務 ・国有財産に関する相談コーナー ・国有財産に関する情報コーナー

